

# 明治の歩みを

つなぐ、つたえる





# 「明治150年」

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から満150年の年に当たります

**明**治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した日本は、明治期において多岐にわたる近代化への取組を行い、国の基本的な形を築き上げていきました。内閣制度の導入、大日本帝国憲法の制定、立憲政治・議会政治の導入、鉄道の開業や郵便制度の施行など技術革新と産業化の推進、義務教育の導入や女子師範学校の設立といった教育の充実を始めとして、多くの取組が進められました。また、若者や女性等が海外に留学して知識を吸収し、外国人から学んだ知識を活かしつつ、単なる西洋の真似ではない、日本の良さや伝統を活かした技術や文化も生み出されました。

政府では、「明治150年」を迎える平成30年(2018年)を節目として、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくために、地方公共団体や民間企業とも一緒になって様々な取組をしています。

## ●「明治以降の歩みを次世代に遺す」

### 明治150年アーカイブス



歴史資料の収集・デジタルアーカイブ化

### 重要文化財 旧奈良監獄の公開・活用



旧奈良監獄 表門  
(写真提供：法務省)

旧奈良監獄 中央看守所  
(写真提供：法務省)

## ●「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」

### 「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する理解増進



富士山反射炉 (写真提供：内閣府)

端島炭坑(軍艦島)  
(写真提供：内閣府)

### 世界一の生糸産業から学ぶ

農林水産省

連携

蚕糸関係団体等

- 生糸産業の歴史に関する資料の収集・デジタルアーカイブ化
- イベントの開催

富岡製糸場  
(写真提供：富岡市)



富岡製糸場工女勉強之図  
(写真提供：群馬県立図書館)

内閣官房「明治150年」関連施策推進室

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>

